

キッズーSOを実施します。 節約の秘訣は家族回らんです。

市では、環境教育の一環として、毎年市内小学校5年生を対象に、夏休み期間を利用した「キッズーSOプログラム」を実施しています。「チャレンジに必要なテキストは学校を通じて配布されます」キッズーSOプログラムは児童が家族のリーダーとして環境やエコについて考え、電気・ガス・水道の節約や、家庭から出るごみの減量化などを2週間に渡りチャレンジするものです。

■崎小6年生の坂本小和(さわ)さんとお母さんに、昨年チャレンジしたときの感想を伺いました。

Q 苦労した点は？

朝早く起きて、メーターを



調べて記入したり、お風呂の残り湯で洗濯したり、エアコンの設定温度を高めにしたリ、使っていない部屋の電気を消したりと、家族みんなでいろいろ相談しながら挑戦しました。すごく大変でしたが、よい結果が出たときはすごくうれしかったです。

Q 変わったことは？

電気をつけっぱなしにするクセを直そうと思いました。

Q (お母さんが)協力してみて感じたことは？

子どもが自分ひとりでは大変な調査なので、一緒に朝早く起きたりして手伝いました。結果的に、いままで以上に家族が集つ時間が多くなり、節電や節水につながり、これを機会に、さらに家族の絆が強くなつた気がします。

Q 今年チャレンジする5年生にアドバイスは？

特別なことをしなくても、コマめに電気を消すなど、ちよつとしたことで結

果につながります。めんどくさがるずに、いろいろと挑戦してほしいです！

*ISO14001プログラムとは、環境基準に関する世界的な取り決めの規定のもとにした環境を守る管理システムのこと

■お問い合わせ

環境課環境政策担当

(内線131・132)

廃食油・賞味期限切れの天ぷら油を無料回収

バイオディーゼルネットワークやまなしは、天ぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料として利用する普及活動を行っています。

次の日程で、家庭用の廃食油(使用済み天ぷら油)と賞味期限切れの天ぷら油を回収します。

※容器はお持ち帰りをお願いします。なお、業務用は回収できません。

■日時 7月13日(土) 11時~12時

■場所 市役所庁舎裏駐車場

■お問い合わせ

*バイオディーゼル ネットワークやまなし

(パルシステム山梨内)

☎055124316328

災害は日ごろの備えが大切です！

■台風・大雨に備えて

7月から9月は台風の上陸が多い季節です。暴風雨による河川の急激な増水やはんらん、土砂崩れなどがもたらす被害を最小限に抑えるためにも、普段から河川のごみを除去したり、気象庁が発表する警報・注意報等に注意することも、危険を感じたらすぐ避難するなど、落ち着いて安全な行動ができるよう心掛けましょう。

■自主防災組織が大切

大規模な災害が起こると多くの人や建物が被災し、交通網が寸断され、応援が到着するまでに時間を要します。発災直後は、市民の皆さんによる初期の行動が大切になります。

自然災害から被害を最小限にとどめ、自分の命、地域は自分たちで守る意識が大切です。そのときに、大きな力となるのが「自主防災組織」です。

市では、地域減災リーダー育成講座や出前塾の活用などを通じて、減災や自主防災組織への理解を深め、市職員も

関わりながら組織の創設、活動の推進に取り組み、減災力の強いまちづくりを進めています。

■お問い合わせ

総務課防災交通担当

(内線309・309)

「河川愛護デー」で水防意識を高めましょう！

市では、昭和34年の台風による甚大な災害を教訓に、長い間、各地域での河川愛護活動を実施しています。

今年も、自治会ごとに7月7日(日)を中心とした休日等を「河川愛護デー」の実施日と定め、台風等による水害の発生防止と河川に対する愛着を高めることを目的に、河川・水路等の除草、清掃、土のうづくり等の作業が行われます。市民の皆さんの積極的な参加をお願いします。

また、4月末に配布した「土砂災害(洪水)ハザードマップ」をご覧ください。土砂流やがけ崩れ等、発災の恐れのある場所、避難場所や経路の確認する機会にしましょう。

■お問い合わせ

建設課管理担当

(内線246・247)